

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	ピアノ実技Ⅰ（基礎）					授業形態	実技		
科目コード	750172	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								
授業概要	<p>この授業の目的は、子どもの音楽活動を支えるためのピアノ奏法の基礎的技術を習得することである。 読譜や指使い、デュナーミク（強弱法）、身体の使い方などの基本的事項を身につけ、ピアノ表現技術を向上させる。初心者、既習者ともに『ピアノテキスト』掲載のバイエルと中心とした実技課題から始め、習熟度に応じてブルグミュラーやソナチネ等の音楽作品に触れ、音楽性を高める。</p>								
関連する科目	事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって、楽譜の読み方を把握し視唱・視奏などの実践できていることが望ましい。								
授業の進め方と方法	受講者は、各レッスン室で個人指導を受け、順番を待つ間は音楽室の電子ピアノで自主練習を行う。								
授業計画【第1回】	導入（オリエンテーション）								
授業計画【第2回】	5指の基本練習								
授業計画【第3回】	和音奏の練習								
授業計画【第4回】	付点リズムの練習								
授業計画【第5回】	各種拍子の練習								
授業計画【第6回】	全音符から16分音符までの練習								
授業計画【第7回】	ハ長調の練習								
授業計画【第8回】	ト長調の練習								
授業計画【第9回】	ヘ長調の練習								
授業計画【第10回】	ニ長調の練習								
授業計画【第11回】	イ短調の練習								

授業計画 【第12回】	試験曲の練習
授業計画 【第13回】	試験曲の練習
授業計画 【第14回】	試験曲の練習
授業計画 【第15回】	試験リハーサル * マンツーマンの個人レッスンという形で受講者の習熟度に合わせて指導を行う。そのため、各自で進度が異なる。
授業の到達目標	1. ピアノ奏法の基礎を身につける。 2. 簡易伴奏に用いる基礎的な和声理論を習得し、主要三和音のコード奏に慣れる。 * 授業での十分な実践と自主練習を通し、着実かつ確実に習得する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	ピアノレッスンは、十分な自主練習(予習)を子なって臨むことが前提となる。日々の練習の積み重ねが、上達の鍵となる。わずかな時間でも日々ピアノに向き合い、練習に努めること。
授業時間外の学修 【復習】	レッスン後、速やかに自主練習を行い、レッスンで指摘された部分については特に重点的に練習し改善を図る。次のレッスンまで、時間を見つけてコツコツと自主練習に励むこと。
課題に対する フィードバック	マンツーマンの個人レッスンを通して、常に個人のレベルやニーズに応じた指導を行います。
評価方法・基準	受講態度：40%、自主練習の有無：30%、実技試験：30%
テキスト	全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『ピアノテキスト』 (カワイ出版)
参考書	『全訳バイエルピアノ教則本』(全音楽譜出版社)
備考	授業時間は「2時間」で、開始および終了時にはレッスン室に集合し担当教員の指示を受ける。 ピアノや声楽等の専門家など、複数の教員が担当します。